



インストール後の作業

この章では、Broadband Access Center (BAC) のインストール後の作業について説明します。

- [Network Registrar スプーフィング DNS サーバのイネーブル化 \(p.5-1\)](#)
- [BAC からアラートを受信するように Syslog ユーティリティを設定する方法 \(p.5-2\)](#)

Network Registrar スプーフィング DNS サーバのイネーブル化

スプーフィング DNS (ドメイン ネーム システム) サーバはすべての DNS 要求を同じ IP アドレスに転送します。スプーフィングをイネーブルにすると、新しい加入者にセルフプロビジョニングフローを適用できます。

たとえば、DNS ホストが `dns.acme.com`、IP アドレスが `10.10.10.5` であるとして。また、セルフプロビジョニングフロー機能を持つ Web サーバが `10.10.10.6` であるとして。

DNS サーバで、Cisco Network Registrar (CNR; Cisco ネットワーク レジストラ) の次のパラメータを設定します。

```
nrcmd> zone . delete
nrcmd> zone . create primary dns.acme.com postmaster.dns.acme.com
nrcmd> zone . addrr * a 10.10.10.6
nrcmd> save
nrcmd> dns reload
```

DNS をリロードすると、変更が有効になります。

DHCP サーバで、Network Registrar の次のパラメータを設定します。

```
nrcmd> policy unprovisioned setoption domain-name-servers 10.10.10.5
nrcmd> policy unprovisioned setoption domain-name acme.com
nrcmd> save
nrcmd> dhcp reload
```

BAC からアラートを受信するように Syslog ユーティリティを設定する方法

システムからアラートとデバッグ情報を受信するように、あらゆる BAC コンポーネント サーバ上で Syslog ファイルを設定できます。



(注) Syslog ファイルの設定は、省略可能な作業です。

BAC は、Solaris の Syslog サービスを通じてアラートを生成します。Syslog は、クライアント / サーバ プロトコルで、UNIX での情報のロギングを管理します。BAC の Syslog アラートは、ロギング サービスではありません。問題が存在していることは通知しますが、必ずしも問題の原因を特定しません。そのような情報は、適切な BAC ログ ファイル (*rdu.log* および *dpe.log*) にある可能性があります。Syslog ファイルを設定すると、これらのアラートは別のログ ファイルに記録されます。

エラー メッセージとアラートの詳細については、『Cisco Broadband Access Center Administrator Guide, 2.7.1』を参照してください。

Network Registrar 拡張ポイントおよび RDU サーバに Syslog ユーティリティを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Network Registrar サーバに *root* としてログインします。

ステップ 2 コマンドラインでログ ファイルを作成します。

次に例を示します。

```
# touch /var/log/bac.log
```

ステップ 3 *vi* などのテキスト エディタを使用して */etc/syslog.conf* ファイルを開きます。

ステップ 4 */etc/syslog.conf* ファイルに次の行を追加します。

```
local6.info          /var/log/bpr.log
```



(注) local6:info と */var/log/bpr.log* 情報の間に、タブを 1 つまたは複数挿入する必要があります。

ステップ 5 */etc/syslog.conf* ファイルを保存して閉じます。

ステップ 6 Syslog ユーティリティに新しい設定を取り込ませるために、次のように入力します。

```
# ps -ef | grep syslogd
root    217      1   0   Nov 26   ?           0:00   /usr/sbin/syslogd

kill -HUP 217
```



(注) プロセス ID (PID) は、この例では 217 になっていますが、`ps -ef | grep syslogd` の実行時には変わっている可能性があります。このコマンドからの正しい出力を `kill -HUP` への入力に使用してください。

Syslog は、この時点で BAC からアラートを受信できる状態になります。

■ BAC からアラートを受信するように Syslog ユーティリティを設定する方法